（刊日）　第7号　（日曜火）　五月三十日　磐城毎日新聞　圖二賣部一　圓十五月ヶ一　定價　（1950）　昭和二十五年

福島縣平市南町（平局區内）六六
社團法人磐城毎日新聞社
發行所
株式會社
編集兼印刷人　倫孝
發行人　遠藤
（電話架設申請中）

讀者御愛顧下さい

豪雨、神谷耕土水浸し

裏作の馬鈴薯全滅

當局被害調査に乘り出す

去る二十七日午後から石城地方を襲つた豪雨は各農家の裏作馬鈴薯を全滅せしめる被害を與えてゐる、被害の最も甚大なるのは草野、神谷、大浦の三村で二十九日に至るも耕土の水田の中に溜つてゐ水と化し、田作りの芋は浸水の爲め呼吸中止による發育停止をするもらしてゐるので取入れを目捷に控えて居つたので取入れ目捷に控えて居つたが來たる一、二日の両日午後一時から白河市に於て縣下五市の經濟課長が出席、縣から經濟部長、商工課長の參加を得て打合せ會を開催することになつた

農家の損害は莫大な數字にのぼる模樣だ、地方事務所當局も被害調査に乘り出した、この爲め發育中止した新芋が市内八百屋に氾濫す

るのではあるまいか、何は兎もあれ惡戯過ぎる雨であつたと農民は悄然としてゐる

中小企業弱体化の救濟對策は緊急處置を實施しなければならない現況にあるので縣下五市の經濟擔當責任者も其の對策については眞劍に研究し縣及び關係官廳にこれが施策の具体的運動を推進せしめる機關として此の設立を急いで居つたが來たる一、二日の両日午後一時から白河市に於て縣下五市の經濟課長が出席、縣から經濟部長、商工課長の參加を得て打合せ會を開催することになつた

中小企業弱体化の救濟對策は緊急處置を實施しなければならない現況にあるので縣下五市の經濟擔當責任者も其の對策については眞劍に研究し縣及び關係官廳にこれが施策の具体的運動を推進せしめる機關として此の設立を急いで居つたが來たる一、二日の両日午後一時から白河市に於て縣下五市の經濟課長が出席、縣から經濟部長、商工課長の參加を得て打合せ會を開催することになつた

中小企業弱体化の救濟對策は緊急處置を實施しなければならない現況にあるので縣下五市の經濟擔當責任者も其の對策については眞劍に研究し縣及び關係官廳にこれが施策の具体的運動をい

闇金融、徹底調査

粗惡品製造も併せて

平市物價監視委員會は任期滿了に依り五名增員による任命辭令交付式をなし委員長には高木喬氏再任の上直ちに委員會に入り

一、最近金詰りに來し所謂無許可のごう率な闇金融を業としてゐる私設質屋が相當あるを聞くので之等金融の實情調査をなすこと

一、土地家屋が沸騰してゐる爲め法外な貸契約を行つてゐるので之れが取締りの徹底

一、最近市内に食品加工品の粗製品が氾濫してゐるので之等製品の調査取締り

一、不正計量器の一齊取締等を協議近く監視を嚴にすることになつた

學校建設打合

三十日十時より地方事務所に於いて學校建設打合せ會を開く、參加者は郡下市町村長で昭和二十五年國庫保助配分について檢討する

煙草役員會

昨廿九日午前十時より平市公會堂日本間に於て專賣局平出張所管内平煙草專賣協同組合役員會を開催、左の事項を協議した

▲廿四年度の決算報告

▲廿五年度の子算の審議

市部經濟協會

―白河市で―

今般振興都市白河の提唱で福島縣市部經濟連絡協議會ちなみに今年一月二十三日

競輪場谷川瀬に決定

許可次第直ちに着工

平市競輪場は候補地三四個所をあらゆる角度から檢討した結果、昨二十九日午后一時飯野地内谷川瀬に一万二千坪を買收することに關係地主十五名と話がまとまり其の筋の許可手續をとる

一方、一時借入金二千万円も大体其の運びをつけたので總べての條件がつき次第併せて一万七千五百五十八名で内棄權者數は四千八百六十四名二割八分五厘に當

市民棄權防止に

選擧管委で呼びかけ

參議院議員の選擧も愈々迫り行はれた本縣知事選擧の際の當市に於ける成績をのぞ

參議院議員の選擧も愈々迫り行はれた本縣知事選擧の際の當市に於ける成績をのぞ

參議院議員の選擧も愈々迫り行はれた本縣知事選擧の際の當市に於ける成績をのぞ

社說

參議院の在方

何時の世にも選擧となると候補は選擧の運動に施政方針と自己の抱負を國民に向つて發表する、文書、ラヂオ演說の方法でその型が一寸あか拔けした文書もないが大多數は一律に、學歷經歷、事業關係と黨派であり、政黨の基本方針と政策施策を織り込んで國民何れの面からでも共鳴方出來る樣な仕組である

この型は衆議員も府縣を始め町村の何れも同樣である存在として關心を持たれなかつたものが、最近國民かの檢討などにも熱心な態度で國民の意見が一致して來てゐるのぞんでゐるので、無用のことは大きな收穫であり、この點に付て立候補者の無いやうに心掛けてもらいたい

尙平市の投票所數は八ケ所で其の場所は左の通り決定した、第一投票場―市公會堂、第二―第三小學校、第三―第一小學校、第四―第二小學校、第五―第四小學校、第六―第六小學校、第七―市立第二中、第八―第七小學校で當日の投票開始より午後六時迄となつて居る

農委協議會

來る三十一日午前十時より平市湯殿山に於て福島縣農地委員會協議會石城支部の今年度初總會を開催する、

▲二十四年度の收支決算報告

▲二十五年度豫算審議

▲本年度事業計畫

人生旅日記（6）

平市役所庶務課長　山野邊達倬氏

中米國だけには上陸した事ないだけで明治四十年春英國ヂョーヂ五世の戴冠式にも臨んだと氣焰を吐いて居る、二十七年間を平の自治行政で暮し伊坂町長時代に入つたのが初まりで伏見町長それから昭和十二年六月一日市制執行の初代市長の青沼、次ぎが猪瀨伊藤と過して現鈴木市長の六代目につかえて居るのである、此の間大正十二年の役場入り以來の職場替いが稅務厚生、後に社會課、此の時などは素的な活動をして其の手腕を認められて昨年四月一日庶務課長に拔てきされたのである、謙讓の美德にも富み手腕もあることだから將來も市役所の生字引として勤めることである

人事ニュース

平土木監督所上村所長は事務打合のため三十日出縣する、一日歸平の豫定

鈴木平市長はは昨日福島縣廳に出張、一日歸廳の豫定

選擧も愈々終盤戰に入つたと見て一昨日は雨の中勞農黨の加藤さんの自動車が町巡りをしてゐた、それでも市民の熱は候補者と反對に低調なものだ

▲昔は金の力が光つて取卷き連が熱をあげたものだ此頃は理想選擧にやゝ近い運動だから實彈なぞ飛す者はゐない筈▲若しあるとすれば限られた者が自己の票田やそれとは別な武器に物を云はせて目腐れ金にでも有り付くのが關の山であらう▲だがそんな金をバラまく者も限られてゐるしお人よしにはあきれる他はあるまい▲いまの處そんな手合のあることも聞かないから世の中は明るくなつたやうにも思はれる、然しそれでは料理店の台所にも影響とあつては未來の參議院よ大いに金を撒てて見ては如何

傷害犯

石城郡好間村大字北好間字松坂古河炭礦松坂寮内採炭夫助川忠藏（三）は五月一日午後七時頃同字山下瀧口カツさん方に居た同炭礦青雲寮浦生要吉さんを些細な事から外に呼び出し瓦樣のもので顏面を歐打、全治二週間の傷害を與え二十五日平地區署えに

急性腦炎

赤井に發生

石城郡赤井村大字赤井字日渡一三〇佐藤博平二男君平（五）君は二十七日急性腦炎と判明、隔離された

兄を參議員にと

突如伊藤歌手現る

全部當選するか落ちるかそれとも解らんことだが、今度の參議選に立候補したものが郡山市及び近在で五人あるまるで參議員の巢箱郡山ではある、だがあと一週間で完全に全部ふ化するかどうか？、この巢箱の中に本宮出身の伊藤繊さんがある。血統ならざる經歷は縣議、福島縣町村會長、全國町村會長、自由黨公認全國區と云う位置にありこの肩書があるので一町村から清き一票を頂戴すれば默つてゐても當選は請合ひと云ふ算盤だ、然しドッコイドッコイさう甘くはゆかないところに違算誤算の文字がある寢ても眠れぬ苦勞がある「起つたからにや落しちやならぬ」と今をときめく歌謠界の第一者で法學士の繊アンニャのその實弟たる伊藤久男歌手が放送局豫定番組を反古にして弟の選擧戰場たる故郷に飛んで歸つた、早速トラックに遊說隊を乘り込ませ主要都市への遊說に乘り出した、昨日は平市へ突加現れたので人氣は大したもの、人の山、車馬も交通止めの賑ぎやかである、久男さん前置がよい歌手と云つても皆樣に歌を聞かせるのではありません、兄の一大事と兄繊さんの生ひ立ちを一とくさり說明しては後援辨士と交替する、然し聽衆は參議員候補の兄よりは流行歌手久男さんの偉大なる体軀に魅力があつて異色ある選擧宣傳ともなり相當な効果を納めたことであぬ」と今をときめく歌謠界らう

祝　磐城毎日

すべての字母は揃へました
九ポは既に鑄造を終りました
八ポは目下盛んに鑄込んで居ります
來月下旬までには完成です
十二ポ　十八ポ　二十四ポも新品に改めてゐます
歐文も揃へました
寫眞トッ版の製作は迅速に二時間で出來ます
以上をご報告して勉强第一の大和田印刷所を御利用下さい

發刊

株式會社　大和田印刷所
平市仲町二三番地
電話　七二九番
振替東京一四六〇四六番

裏ぶれの友救ふため姓名を摺替えて十七年

輕犯罪から平簡裁で判る

人生の裏街道にうらぶれの同志が飢えの一歩前で職にあり付たが身体の適正を感案、自已の性名を交換して職場に就いた、それから十七年目になる片割れの一人はふとした犯罪の爲め今度平簡裁の法延に立つて取調べられた、それとも知らず犯人の氏名を名乗つた相手が何處の土地にゐるのやら取扱つた裁判所でもこんな珍らしいことはめつたにないことであらう

石城郡小名濱町字松の中行商人梅ケ崎三郎(四三)は去般生活苦からふとした犯罪を犯した爲め窃盗罪として平簡裁に送検されたが身許照會の結果、本籍地宮城縣廣原村大字羽根塲一七番地には高山は居住してゐるが、梅ケ崎は該當しない旨通知に接した、裁判所では再調査をした結果、被告こそ高山が本名であること判名した、何故の僞名かその申立てを聞くと事の起りは今から十七年前に遡るのだ、昭和八年の秋も晩くであつた高山新一郎の實家は宮城縣でも指折り算える資産家であつたが事業に失敗してうらぶれの身を平の街に明日の希望もなく飢えをしのんで職業紹介所(職安の前身)に飛込んで事情を訴えた、係員は彼を小名濱の料理店へ住込みとして世話してくれたその時もう一人の求職者梅ケ崎三郎(三〇)は築港沖仲仕とゝし採用された、二る、平發四時二十分臨時列人は生きられる救の手に喜車で出發、翌二日午後八時んで役所を出たが、道すがら過去の經歴を語り合うゝ二十四分で歸着する、参加人員を學校別にすると一ちに梅ケ崎は病弱であるの中生約四百名、三中生約二に沖仲仕、頑健体の高山が百六十名料理店住み込みなので行きあたりばつたりの仁侠心から二人は職塲の交換を決めることにしたが役所の登録を變更することもならず年齢が同じ三十才なのを幸ひ性名さい取り替えればよいと決めた、そして高山は梅ケ崎と名乗つて沖仲仕に働えた、ただ弱き者を救んが爲め以外にこれと云う惡意があつた譯ではない、さて今度の事件で前科者になつた高山の姓名を稱用してゐる梅ケ崎は今何處にゐるやらゐないやらそれとも高山を稱してゐるかどうか今度の事件がなかつたら高山は何時までも梅ケ崎の名を用えてゐたかも知れない

卓球予選代表決定

高校對抗卓球石城地區豫選は二十七日磐城高コートに行はれた、石城地區代表は次の通りである（○印は地區代表選手）

⊙準決勝戰
○磐　高3—0四倉高
○平工　高3—0小名濱高
⊙決勝戰
磐　高3—1平工高
⊙準決勝戰
○湯本女高3—2磐農女
○磐女高3—1小名濱高
⊙決勝戰
磐女高3—0湯本女高
男子ダブルス
⊙準決勝戰
○舟生(農)2—0沼田
○佐藤(磐)2—0白土(工)
○片寄(磐)2—0増田(工)
○國本(磐)2—0小井野上(農)
○吉田(磐)2—0大塚(工)
○南羽(小)2—0高田(工)
女子ダブルス
⊙準決勝戰
○今泉(小)2—0大井川(磐)
○曾我(小)2—0加藤(磐)
○川早隅坂(湯)2—0永田瀬口(農)
○柴田(磐)2—0古館(農)
○高橋(磐)2—0奥崎(湯)
○黒澤井(湯)2—1後馬(小)
男子シングルス
⊙準々決勝戰
○南羽(小)2—0赤津(磐)
○高木(工)2—1佐竹(磐)
○國本(磐)2—0増田(工)
○吉田(小)2—0小笠原湯
○大塚(工)2—0松本(四)
○佐藤(磐)2—1白土(工)
○吉田(磐)2—0渡邊(工)
○片寄(磐)2—0松本(工)
女子シングルス
○今泉(小)2—0田口(農)
○後田(小)2—1永瀬(農)
○大井川(磐)2—0古内(農)
○柴田(磐)2—0根本(四)
○館(農)2—1鈴木(四)
○高橋(磐)2—0奥崎(湯)
○馬上(小)2—1鈴木(湯)
○曾我(小)2—0佐久間(湯)
（○印は縣大會石城地區代表）

二十八日には本年度磐城地區硬式ダブルス選手權大會並びにマ杯石城地區豫選マ杯ジニア石城地區豫選が行はれ優勝チーム並びに地區代表は次の通り決定した

⊙準決勝
片澁寄　澤2—0酒井大平
⊙決勝戰
○信澤木2—1吉田國本
○高木2—0野口國本2—1齋藤
○吉田2—0友部
亦マ杯石城地區豫選決定者は次の通りである
信澤、酒井、岡田、松崎、廣邊、大塚、澁澤、大平

（上）豪雨を突いて吾等の參議の抱負を聞がんと詰めかけた會塲は滿員だ　壇上に立つは木村補の演説

（下）平市で開へた參議員立會演説會の政見發表各派の聽衆が入り乱れての野次の競演で賑つた會塲

優良納税吏員

縣連から表彰さる

石城郡税務協會の總會が二十八日平市公會堂日本間で行はれた事は既報の通りで又郡内十ヶ年繼續納税優良町村と優良税務吏員の表彰を行つた表彰町村及び氏名は左の通り

△郡協會々長賞
上遠野書記　上遠野武雄
湯本同　尾形喜志夫
鹿島同　佐原一成
勿來同　齋藤富次
小名濱同　若松ワカ子
内郷同　野木彌三郎
大野收入役　佐藤善多
高久書記　田仲一守
平同　木村正太郎
△連合會長賞
磐崎書記　飯塚源藏
湯本同　若松正男
平同　渡邊美登
豊間町高久村鹿島村夫々村役場

豪雨の被害

五十七町歩

去る二十七日來の豪雨は郡内各地に相當の雨量をもたらした小名濱測候所の調べに依ると坪當一石四斗六升(八〇ミリ)であつた被害は二毛作地五十七町余水苗代冠水は二千四百町歩主に草野夏井、泉、山田、内郷錦植田の低位地方であつた然し雨の上り方が早かつたため農作物に及した影響は馬鈴薯の外案外少ないものと見られて居る

修學旅行日光へ

平第一、第三中學校では來る一日日光へ修學旅行をする

官衙學校職員錄（其の六）

磐城女子高等學校

校長　大橋秀冬
教頭　新妻熊男
鈴木利雄
柴崎弘平
鈴木祐一定
草野壽々雄
鈴木安子
篠原光四郎
吉田一理
赤津千嵐
島村町
鈴木敏
大和田某
鈴木武雄
高崎剛
大門セイ
千葉ハツノ
佐々木君代
石田丈眞
内藤武夫
箱崎正雄
有我房江
渡邊永
佐藤美
遠藤勝
助川一晉
山田夫
四家ケ
國分薫
黒澤保
新妻惠男
事務官
荻藤勝三
武川一夫
齊藤卓兒
倉田正子
佐々木貞子
鈴木トク
高木ユキ
草野ヤイ子
佐久間チヤウ
杉浦綾子
渡邊ヨシ子
富安美津子
中西一郎
椎野光男
國井正武
横山晴雄
岡田リキ
大内秀次郎
柏原正一
丸荘之助
校醫　大森勇四
萩原義雄
太田男子
本阿彌信子
志賀博
荒川悦子
吉田亀吉
長谷川友子
佐藤貞子
鈴木四郎
木村健治
佐藤昌子
吉田良次
山本桂子
掛田二郎
橋本サヨ
義翁
保健主事
家庭科
事務調査主任大和田
給食
松本智子
學校醫
志賀政光
學校齒科醫
志賀與一

平市立第二小學校

校長　新家芳美
教務主任　増井義榮
一年一組担任眞木喜久子
三瓶タカ
大樂シマ子
猪狩セツ子
古川チヨ
桑名ハルイ
野口テル
松崎公子
木村津由子
藤田シゲ
稲沼高子
中野正二郎
阿部生子
鈴木章子
松崎光子
大野ヒデ
吉田ヒロ
大内ヒロ
大和田ヒロ
大森ヒロ
太田ヒロ
本阿彌ヒロ
志賀ヒロ
荒川ヒロ
吉田ヒロ
長谷川ヒロ
佐藤ヒロ
鈴木ヒロ
佐藤ヒロ
吉田ヒロ
山本ヒロ
掛田ヒロ
橋本ヒロ
義翁ヒロ
保健主事
家庭科
事務調査主任大和田
給食
松本智子
學校醫
志賀政光
學校齒科醫
志賀與一

一人組破藏犯人

茨城縣で平警察檢擧

最近頻々として起る平附近藏破りに平市署では躍起となつて犯人を追究中であつたが十六日藏物牙保容疑で檢擧された内郷町大字綴字秋山三二古物商鈴木庶嗣(三三)の自供により内郷町署と協力して二十七日午後六時頃主犯の茨城縣多賀町大字成澤字仲間一二〇大工市村政美(三八)同町字下孫の自宅附近で平市署員が逮捕した兩名は共謀の上去る八日石城郡好間村大字今仁井田字宮西一四農業伊藤庄助(六〇)さん方の土藏に忍び入り衣類三十一点、現金千三百円、計二万八千円相當を盗み更に十二日午前一時頃平市大字中平窪字勝見澤五七會社員石井秀雄(六三)さん方の勝手口から忍び込み居間にあつた鍵で土藏をあけ、衣類並びに洋服二百三十四点、時價二十万円相當を盗んだもの、また石井さん方から盗み出した衣類二百八点、時價十五万円相當は十七日東京都品川驛に張込中の平市署員に押收された、主犯の市村は二十日迄石城郡草野村大字原高屋上ノ町一八番地に住んでゐたが發覺を恐れて移轉したものでん

土砂崩れて子供の慘死

二十八日双葉郡木戸村山田岡渡邊千尋六男四郎(七)さは午前七時自宅舊風呂場跡のホラ穴に遊んでゐたところホラ穴の天井が崩れ其の下敷になり死亡した

泥漢檢擧

磐炭礦住吉寮採炭夫渡邊春次(三〇)は二十八日午後五時半頃同町字宮地内で泥酔の上通りかゝつた同町字白水キャンデー屋伊藤德(二九)さんに全治一週間の傷を負はせ内郷町署へ

窃盗現行犯

石城郡小名濱町須賀町齊藤廣(三〇)は二十八日午前十一時五十分同町定西先崎武さん方に忍び入り室内を物色中現行犯として小名濱町署に捕まつた

魚菜相塲

—二十九日現在—

（魚市場）（單位貫）

サバ	八五円
カナガシラ	一七〇—一五〇円
カツオ	二五〇円
ヒラメ	三〇〇円
タコ	七〇〇円
カドイワシ	一〇〇円
ナマイワシ	一一〇円
ブリ	二五〇円
マコヒラメ	二〇〇—一八〇円
ドンコウ	四〇円—三〇円

海上時化で漸時引締つた

【青果市場】

總集荷一六〇〇貫（單位貫）

キャベツ	一〇—七円
大根(小丸)	三〇—一〇円
たけのこ	七〇円
さやえんどう	一二〇—一〇〇円
新馬鈴薯	八〇—六〇円
きうり(一本)	八—六円
へらな	十七円

出生

十九日▲平市字長橋町二五根本清作さん(三女)敏子さん▲十八日平市字新川町一一菊地春さん(長女)惠子さん

死亡

二十六日平市字六間門十五三村ケンさん

愛兵錄

五月人形

東京・亀戸製造元
本間商店直賣
市價の三割安い
◎卸は御相談に應じます
平市白銀町（驛前）
上原玩具店

喪主　川和宣宏
施主　川和德一
松本金市郎
親戚　川和光
山木昇
關内正一
佐藤虎次郎
總代　金成豊彦
古市正夫
風戸秀雄
友人代　鈴木松吉
小澤專七郎
馬目武之助
植田万次郎
小野義一
總代　强口唯七郎
木山茂彦
鈴木正男
葬儀委員長　蓮沼龍輔
副委員長　石山一治
仝　高野滿次郎
儀　花澤久一郎
小松茂
齋藤角治
委　大塚駒太郎
高木喬
員　永野孝夫
鈴木政一
川德事業部一同

荊妻均子儀二、三日來風邪氣味にて病臥中の處突然心臓麻痺にて五月二十三日午後零時十五分永眠致しました
生前の御厚誼を拜謝し不取敢紙上を以て御通知申し上げます
追て送葬の儀は去る五月廿四日だびに附し告別式は本三十日午后一時より二時まで自宅に於て相營み性源寺に埋葬致します
昭和二十五年五月三十日
平市鍛冶町三一番地
川和家葬儀事務所